

自叙伝に学ぶ「心の書写」の意義

① 心の書写とは

◎自叙伝のみ言に自分の心を合わせる。

◎み言を刻み込む。

◎心にみ言の種を蒔く。み言の苗を植える。

目で蒔く・・・読書

口で蒔く・・・訓読

耳で蒔く・・・訓読

手で蒔く・・・書写

◎毎日、書写する・・・邪心はみ言を妨げ、本心は受け入れる。

◎継続しなければ流れ去っていく。

◎書写納めと書写伝授 家庭と教会の連結

② 誰が書写するのか

◎自分が書写して、心が復活することにより、様々な「証」（生活の中での具体的良き変化）が生まれてきます。

◎他の方にも自叙伝をすすめて、喜びと感謝の生活の輪を広げて行きましょう。

◎自叙伝は読者の心を耕してくれます。

心の書写の手順

1. 静かな心落ち着く時間（なるべく早朝）に行なって下さい。
2. 口をすすぎ、手を洗い、静かな場所で書写の準備をします。
3. 姿勢を正し、心を落ち着け、私の心が神の心に似ることを祈念し、真心の報謝を捧げます。
4. その月の書写する自叙伝の箇所を訓読します。
5. 一文字、一文字、真心を込めて書き写します。（用紙に写すと同時に心に書き写す心情で行ないましょう。）
6. 書写したみ言を生活の中で意識しながら実践します。（一日の終わりにみ言を実践することが出来たかを確認しましょう。）

※ 一ヶ月書写した精誠をお捧げし、新たな言葉の伝授を受ける「感謝祭」を定期的に行なっています。楽しい茶話会なども同時に行なっていますので是非ご参加下さい。

詳しい日程などは、下記までご連絡下さい。

世界基督教統一神霊教会

岐阜教区高山教会

TEL 0577-57-7033

FAX 0577-57-7032

二〇一〇年十二月号

文鮮明先生 自叙伝に学ぶ、 心の書写

